

歴史に残る超大型建造物にSQS工法（CVスプレー）が大きく貢献
今注目の首都高速道路中央環状線 開通に向けて着実に工事が進んでいます



首都高速道路中央環状線は「首都圏三環状走路」の中で東京都区部の主要拠点を結び、放射方向の道路と接続することにより首都圏の交通事情を大幅に改善し、首都機能の維持・増進を図る総延長約47kmの路線です。

このうち西側11kmの中央環状新宿線は、高速5号池袋線・4号新宿線への接続を今年の12月末までに開通予定になってます。次に東名高速につながる高速3号渋谷線（大橋JCT）への接続は平成21年度中に開通予定です。

また、南側の最終区間は延長約9kmの中央環状品川線です、この区間は昨年事業着手し、平成25年度中に完成を目指しています。

渋谷（東京メトロ13号線）の経験が大橋ジャンクションに生きる
難工事克服と短工期実現でSQS工法（CVスプレー）の信頼高まる



写真上：施工前 漏水が激しい
写真下：止水後CVスプレー施工



大橋ジャンクションは目黒川に至近の場所に、地下36mから立ち上げており着工にあたり、止水・遮水・防水工を如何にするかが最重要ポイントに挙げられました。工区は①福田組JV工区と②鹿島JV工区の2工区です。先に着工する①福田組JV工区では、難工事が予想されるこの現場を予定通り仕上げるため、あらゆる角度から検討されました。そこで、この現場から2km北で現在も工事が続いている、東京メトロ13号線渋谷駅地下工の成功実績を参考にされました。この現場も渋谷川が13号線と並行して流れており、湧水が多く、さらに地下鉄半蔵門線の下で13号線が交差する、地下約30mまで掘り下げた大工事です。この工事で止水・導水・防水で各工区を担当する元請各社から高い評価を得ている藤信化建株とSQS(CVスプレー)が注目されました。

検討の結果、歴史に残る大工事現場で難工事が予想される止水・導水・防水の施工会社には実績と信頼の高い藤信化建株が、防水工法は防水能力が高く大幅な工期短縮が可能な、SQS(CVスプレー)の先・後両工法が採用されました。①の経過を参考に②工区も採用が検討されております。

現場では藤信化建株の職方だけでなく、異業種の職方達も「歴史に残る巨大建造物を自分たちの手で作り上げるのだ!」と、業種を超えて共通意識が芽生え、互いが切磋琢磨し、普段の現場とは様変わりな、大変活気溢れ連帯意識の高い建設現場になっております。

工事名：首都高速大橋ジャンクション
工期：2006年3月～2010年3月予定
工法：SQS（CVスプレー）
先やり・後やり工法
施工会社：藤信化建株式会社

東京支店課長 SVリーダー
宮田 撰夫

NHK「ここが舞台だ！」に取上げられた 若者達の活気溢れる工事現場



完成すれば地上35m地下36m、20階建てのビルに相当、1周400mループ道路2周して上り下りするジャンクションは巨大な楕円形になります

本年1月8日「成人の日」の22:00～22:58【NHK総合】「ここが舞台だ！」で首都高速道路中央環状線大橋ジャンクションの工事現場で働く若者達の元気溢れる活躍の様子が報道されました。

ストーリーは東京のど真ん中にある高速道路の工事現場を舞台に、そこで働く若者達のさまざまな人生、思いを「成人の日」に重ねて、自分の仕事に誇りを持って打ち込んでいる若者の姿を紹介しています。

主人公は道路工事に欠かせない鳶鍛冶（とびかじ）になって1年半、高校を中退してこの世界に飛び込んだF君と、高校は面白くないと退学しこの世界に飛び込んで3ヶ月になるO君の二人を中心に、鳶の世界・溶接のこともさっぱりわからなかった二人が、ここで始めて、仕事ができる尊敬できる大人と出会い、親方や先輩に囲まれ、いつか親方になることを夢見るようになり、自分たちの仕事の成果が「地図」に永遠に記される喜びがやる気をさらに高めています。レジテクト工法を取り扱う我々も永遠に地図に残る喜びは一緒です。

※このページの写真並びに記述内容の一部は、首都高速道路、NHKのホームページを参照しております。

株式会社ジェ.ピー

代表取締役 古川 俊夫



弊社は、PCコンクリート製、雪崩よけ施設（スノーシールド）の据付けを専門とする施工会社として昭和五十四年に雪国、新潟市で発足しました。当時、スノーシールドは、まだ大変めずらしいこともあり、発注される物件数もごく限られたものでした。

このため工事を求め、はるばる新潟から全国津々浦々へと出かけて行きました。このような事情により、現場は遠隔地がほとんどで、エリヤは沖繩から北は利尻、礼文島に及んでいました。工期の都合上、移動は迅速さを要するため、社員が昼夜交代でバスやトラックを運転して現場に急行したものです。以来、顧客からのご愛顧もあり、ご要望にこたえるうちに、社員の数も少しずつ増えて、今では三十名になりました。加えて工事も目も次第が増えて、主力のシールド工事のほか、プレキャスト部材で構成される、大口径のアーチ型地下通路（アンダーパス）やカルバート、樋門、トンネル内壁張替（トネルライニング）、狭隘斜面での「張出し車道」、落石ネット、維持補修、等の工事を手掛けています。

公共工事が激減の一途をたどる最近、弊社も仕事量の落ち込みに対して、何とか手を打たなければと考えていた折、縁あって取引先からレジテクトB Nのご教示を受け、入会させて頂きました。ウレタン系素材のすぐれた性能をいかんなく使用する、レジテクト工法は、弊社の意図する差別化策の一端を担ってくれるものと、大いに確信するところでした。

主な業務内容

- 土木工事
- 橋梁工事
- 橋梁床版打換工事
- PC建築工事
- PC土木工事（アンダーパス、カルバート、樋門、他）
- 防災工事（シールド、シールド、キバー、他）
- コンクリート補修工事（シールド、トンネル、橋梁）
- 防災フェンス、ネット工事



株式会社大阪防水建設社 九州支店

取締役支店長 野口 豊治



お客様に役立つ会社、さらには社会に役立つ会社を目指しています。私ども大阪防水建設社は、1933年（昭和8年）創立、1950年（昭和25年）には機構を改め、株式会社として再発足いたしました。創立から70有余年、設立からも半世紀を超える歴史を有しておりますが、この積み重ねてきた時間に甘えることなく、専門分野でつねに新しい境地を切り拓き、よりよい技術を求め、その活動の場を拡げて参りました。

おかげさまで現在では、施工業種も防水工事、のり面保護工事、地盤改良工事、パイプメンテナンス工事を主軸にその関連各種に拡がっております。

ここでは、私どもの保持するさまざまなスキルやノウハウを駆使し、何よりもお客様の役に立つ優れた技術の提供に心を尽くしております。そしてこれは必ず、世の中の数多くの人々の営みを支え、ひいては広く社会に役立つことに繋がると信じて参りました。

この信条を反映するように、当社の事業活動は現在、その多くを公共的な用途が占めております。このような仕事のそれぞれについて、私どもは「この技術はお客様の役に立っているのか」「それは社会の役立つことか」「この一端を担っているのか」と、自らに真剣に問いかけつつ、またこの命題を行動の指針としながら、全社が心を一にして社会に貢献すべく日々励んでゆきたいと願っております。

今後とも温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。